

(1) 令和2年度の公的職業訓練進捗状況について

公共職業訓練の状況
[長崎職業能力開発センター]

資料 No.2

令和2年度第2回長崎県地域訓練協議会資料

令和3年3月2日

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長崎支部

長崎職業能力開発促進センター

(ポリテクセンター長崎)

佐世保訓練センター

(ポリテクセンター佐世保)

離職者訓練

《概要》

離職された方々を対象に、早期再就職に必要な基礎的な「技能」「知識」や応用性を加味した「技能」「知識」を習得できるようにするための公共職業訓練です。

対象者

ハローワークに求職申込みをされた方で、ハローワークから訓練受講の指示又は推薦を受けられる方

訓練期間

6ヶ月(導入講習付き訓練は7ヶ月)

【デュアルシステム】

デュアルシステムとは、概ね55歳未満の若年の方を職業人に育てる職業訓練です。施設内訓練と企業における実習を組み合わせることにより、より実践的な技能・技術等を身につけ、即戦力として役立つ人材育成を目的とした職業訓練です。

【導入講習】

導入講習とは、将来の働き方のビジョンや訓練志望動機を再確認しながら、訓練受講に必要な基礎的能力等を付与したうえで、実践的職業訓練へ導くための訓練です。

最初の1ヶ月でジョブ・カード、パソコン基礎、ワークガイダンス、各科(機械加工、電気工事)の基礎を学びます。

主な訓練コース

機械加工/CAD科、CAD・生産サポート科、溶接施工科、電気設備技術科、設備管理科、住宅リフォーム技術科、住環境コーディネイト科、機械加工技術科(デュアルシステム)、テクニカルメタルワーク科(デュアルシステム)

就職支援

訓練受講者の訓練修了時の再就職に向け、各科担当者、就職相談員により、それぞれの事情に応じたきめ細かい相談や求人情報の提供を行っているほか、就職ガイダンスを開催し、求人企業の動向、求人を行う企業の立場から企業が求める人材及び中途採用者に求めるものについて講演、履歴書・職務経歴書の作成方法、面接の受け方など細やかな支援を行っています。

<令和2年度離職者訓練(施設内訓練)実施状況>

(応募・入所・定員充足率は1月入所現在、就職率は令和2年12月31日現在)

ポリテクセンター長崎

施設目標値
定員充足率:85.0%、就職率:85.0%
正社員就職率:76.9%

訓練科名	入所月 (月)	1回あたり 定員 (人)	延定 員 (人)	応募 者数 (人)	入所者数 (人)	定員 充足率 (%)	就職率 (%)	正社員 就職率 (%)
テクニカルオペレーション科 「機械加工/CADオペレーション科」	7,10,1	12	36	26	26	72.2	64.3	44.4
金属加工科「板金・溶接科」	4,10,1	12	36	14	14	38.9	91.7	100
電気設備技術科	4,10	15	30	31	27	90.0	95.8	87.0
設備管理科	4,7,10,1	24	96	82	74	77.1	85.7	63.3
住宅リフォーム技術科	7,10,1	15	45	49	47	104.4	93.3	57.1
橋渡し訓練(集合型) 「導入講習」	6,12	18	36	47	43	119.4	-	-
テクニカルオペレーション科 「機械加工/CADオペレーション科」 (若年者訓練コース/日本版デュアルシステム)	4	12	12	15	13	108.3	75.0	66.7
金属加工科 「板金・溶接科」(若年者訓練コース/ 日本版デュアルシステム)	7	12	12	6	6	50.0	-	-
合 計			303	270	250	82.5	85.7	70.8

ポリテクセンター佐世保

施設目標値
定員充足率:85.0%、就職率:85.0%、
正社員就職率:65.7%

訓練科名 (「募集科名」)	入所月 (月)	1回あたり 定員 (人)	延定 員 (人)	応募 者数 (人)	入所者数 (人)	定員 充足率 (%)	就職率 (%)	正社員 就職率 (%)
CAD・生産サポート科	4,7,10,1	15	60	62	57	95.0	92.6	52.0
テクニカルメタルワーク科 「溶接施工科」	4,10	15	30	17	14	46.7	83.3	100.0
電気設備技術科	4,7,10,1	15	60	64	59	98.3	80.6	80.0
住環境計画科 「住環境コーディネイト科」	4,7,10,1	15	60	57	54	90.0	85.2	69.6
テクニカルメタルワーク科 (若年者訓練コース/日本版 デュアルシステム)	7,1	12	24	11	9	37.5	100.0	100.0
橋渡し訓練(集合型) 「導入講習」	6,12	12	24	40	40	166.7	-	-
合 計			258	251	233	90.3	86.2	70.4

※応募者数、入所者数及び定員充足率は入所が確定した時点での実績となっている。

※就職率および正社員・常用就職率は修了後3ヶ月で確定した時点での実績となっている。

就職率=就職者数+中途退所者就職者数/修了者数+中途退所者就職者数
就職率確定時期:修了から3ヶ月まで

在職者訓練(能力開発セミナー)

《概要》

企業の生産現場が抱える課題解決のため、在職者の方々を対象に、仕事を遂行する上で生産性の向上や業務の改善等に必要な専門的知識及び技能・技術の向上を図るため、地域の人材ニーズに応じた職業訓練を「能力開発セミナー」として実施しています。

セミナーコースは各ポリテクセンターで年度の計画コースを設定しています。その他に企業・事業主団体のご要望に応じたオーダーメイド型の能力開発セミナーを承っています。

オーダーメイド型の能力開発セミナーでは、企業・事業主団体と各ポリテクセンターで、人材育成上の課題、カリキュラムの内容、日程などを相談しながら、よりカスタマイズされたセミナーを計画・実施します。

訓練期間

12～24時間(2～4日間)程度

対象者

在職者の方を対象として、業務に必要な技術・技能・知識のレベルアップを図りたい方

主な訓練コース

ポリテクセンター長崎

電気設備の総合的設計技術／低圧電気設備の保守点検技術／半自動アーク溶接技能クリニック／精密測定技術／被覆アーク溶接技能クリニック／給排水衛生設備設計実践技術／冷媒配管の施工と空調機器据付け技術／自動火災報知設備工事の施工・保守技術／実践建築設計プレゼンテーション(3次元)等

ポリテクセンター佐世保

各種の溶接施工技術／マシニングセンタプログラミング技術／旋盤加工技術／フライス盤加工技術／電力設備の施工管理技術／自家用電気工作物の施工技術／実践建築設計2次元CAD技術／実践建築設計3次元CAD技術／管工事の施工管理技術／建築設備機器廻りの配管施工・保守技術 等

〈令和2年度 実施状況〉 (令和2年12月31日現在)

ポリテクセンター長崎

施設計画数
(達成目標受講者数) 310人

訓練分類 (大分類)	計画 コース数 (種類)	計画数 (人)	受講者数 (人)	主な訓練コース
設計・開発	24	250	84	・電気設備の総合的設計技術 ・在来木造住宅設計実践技術(構造・省エネ)
加工・組立	14	206	22	・NC旋盤プログラミング技術 ・TIG溶接技能クリニック
工事・施工	4	70	35	・自家用電気工作物の施工技術 ・冷媒配管の施工と空調機器据付け技術
検査	1	10	22	・精密測定技術
保全・管理	3	60	22	・自動火災報知設備工事の施行・保守技術 ・ビル設備の電気保全技術
合計	38	596	184	

満足度調査

100.0%
目標値 95.0%
受講者の満足度

92.1%
目標値 90.0%
事業主の満足度

ポリテクセンター佐世保

施設計画数
(達成目標受講者数) 100人

訓練分類 (大分類)	計画 コース数 (種類)	計画数 (人)	受講者数 (人)	主な訓練コース
設計・開発	3	50	33	・実践建築設計2次元CAD技術 ・実践建築設計3次元CAD技術 等
加工・組立	3	80	80	・旋盤精密加工技術 ・炭酸ガス半自動アーク溶接クリニック 等
工事・施工	5	75	54	・実践的な各種管の加工・異種管の接合技術 ・管工事の施工管理技術 等
保全・管理	1	20	35	・生産現場の機械保全実務 ・有接点トラブルの評価と改善 等
教育・安全	1	25	36	・現場の問題解決実践(5Sの実践と定着) 等
合計	13	250	238	

満足度調査

99.1%
目標値 95.0%
受講者の満足度

98.1%
目標値 90.0%
事業主の満足度

(1) 令和2年度の公的職業訓練進捗状況について

**求職者支援訓練の状況
[長崎労働局]**

資料 No.3

長崎県内における求職者支援訓練状況



【令和2年度】 支援訓練認定状況等

		計画数	支援訓練認定状況等				計	応募状況 (R2.4~R3.1月開講まで)		就職状況 (R2.4~R2.7修了まで)	
			県南	県北	県央	離島		応募者数	受講者数	修了者等	就職者数
基礎コース		240	115	10	120	45	290	82	73	27	11
実践 コース	介護	60	10	0	0	0	10	6	6	6	6
	IT	45	45	0	0	0	45	17	15	16	8
	医療事務	30	0	15	0	0	15	0	0	4	4
	建設	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	130	95	24	98	15	232	84	75	27	17
	営業販売事務		95	0	98	15	208	62	56	24	14
	デザイン		0	24	0	24	22	19	3	3	
計		520	265	49	218	60	592	189	169	80	46

■ 訓練講座開設の状況等

- 令和2年度では、訓練実施機関より648名の応募があり、確保した訓練定員の認定数は592名分
→ 令和2年度計画数520名に対する講座認定率は113.8%
- 令和2年度に認定された42講座のうち、7講座（100名分）が訓練中止 → 中止率は16.7% [前年度は24.0%]
- 1月までに開講した（中止除く）訓練募集定員347名に対し、応募者数は189名、受講者数は169名
→ 応募倍率0.54倍（基礎0.48倍、実践0.60倍）、受講率48.7%（基礎42.9%、実践54.2%）

■ 訓練受講給付金・訓練実施奨励金の状況

- 訓練受講給付金は606件63,360,030円、訓練実施奨励金は55件50,200,500円（うち付加奨励15件、保育奨励金0件）

■ 訓練受講者の就職状況 ※平成26年度から雇用保険適用就職率を適用 【目標：基礎コース55.0%、実践コース60.0%】 令和2年度から 【目標：基礎コース58.0%、実践コース63.0%】

- 令和元年度 3ヶ月後の就職率（平成31年4月から令和2年3月までの修了者）
基礎コース58.3%、実践コース56.9%
- 令和2年度 3ヶ月後の就職率（令和2年4月から令和2年7月までの修了者）
基礎コース42.3%、実践コース60.3%

(2) 令和3年度長崎職業訓練実施計画(案)について

資料 No.4

長崎県内のハロートレーニング(公共職業訓練・求職者支援訓練)全体像



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

公共職業訓練

- ◇対象: ハローワークの求職者 **主に雇用保険受給者**
(無料(テキスト代等除く)) ※受講期間中 基本手当+受講手当(500円/訓練日)+通所手当+寄宿手当を支給
- ◇訓練期間: 概ね3か月~2年
- ◇実施機関
 - 国(ポリテクセンター長崎・ポリテクセンター佐世保)
主にものづくり分野の高度な訓練を実施(溶接施工科、電気設備技術科等)
 - 県(長崎高等技術専門学校・佐世保高等技術専門学校)
地域の実情に応じた多様な訓練を実施(溶接科、自動車整備科等)
 - 民間教育訓練機関等(県からの委託)
介護福祉、IT、経理実務、OA事務等の訓練を実施



求職者支援訓練

- ◇対象: ハローワークの求職者 **主に雇用保険を受給できない方**
(無料(テキスト代等除く)) ※受講期間中 受講手当(月10万円)+通所手当+寄宿手当を支給(本人収入が月8万円以下等、一定の要件を満たす場合)
 - ◇訓練期間: 2~6か月
 - ◇実施機関
 - 民間教育訓練機関等(訓練コースごとに厚生労働大臣が認定)
 - <基礎コース> 基礎的能力を習得する訓練
 - <実践コース> 基礎的能力から実践的能力まで一括して習得する訓練
- 実践コースの主な訓練コース**
- 介護系(介護員(実務者)養成研修科等)
 - 情報系(Webデザイン・スマートフォン制作科等)
 - 医療事務系(パソコンも学べる医療・調剤・介護事務科等)



離職者向け

在職者向け

学卒者向け

障害者向け

- ◇対象: 在職労働者(有料)
- ◇訓練期間: 概ね2日~5日
- ◇実施機関: ○国(ポリテクセンター長崎・ポリテクセンター佐世保)
○県(長崎高等技術専門学校・佐世保高等技術専門学校)

- ◇対象: 高等学校卒業者等(無料)
- ◇訓練期間: 1年又は2年
- ◇実施機関: ○県(長崎高等技術専門学校・佐世保高等技術専門学校)

- ◇対象: ハローワークの求職障害者(無料)
- ◇訓練期間: 概ね3か月~1年
- ◇実施機関: ○民間教育訓練機関等(県からの委託)
 - ・障害者の態様に応じた多様な委託訓練
知識・技能習得コース(集合訓練)、実践能力習得コース、e-ラーニングコースの訓練を実施
 - ・特別委託訓練
麵製造科、ポステック科、OAビジネス科の訓練を実施

令和元年度 公共職業訓練 実績(目標)	合計		ポリテクセンター		高等技術専門学校	
	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率
離職者訓練	2,119	-	551	-	1,568	-
うち施設内 80.0%	561	91.4%	551	91.4%	10	100.0%
うち委託 80.0%	1,558	77.9%	-	-	1,558	77.9%
在職者訓練	558	-	405	-	153	-
学卒者訓練	345	99.2%	-	-	345	99.2%
合計	3,065	-	956	-	2,066	-

令和元年度 公共職業訓練 実績 (障害者訓練) (目標) 55.0%	合計		委託訓練		特別委託訓練	
	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率
	53	56.6%	20	41.2%	33	71.9%

令和元年度求職者支援訓練実績 (目標)基礎: **55.0%**、実践: **60.0%**
(基礎コース)58人 就職率: **58.3%** (実践コース)66人 就職率: **56.9%**
※ 就職率は、令和2年3月末までに終了したコースの3ヶ月後の実績(確定値)

長崎県内のハロートレーニング(公的職業訓練)チャート



対象者の状態

訓練の種類

訓練の内容

訓練の主体等

求職中であり
訓練を受けて
から就職したい

主に雇用保険を
受給できる方

主に雇用保険を
受給できない方

主に新規学卒
未就職者

仕事に就いて
いる(在職中)

公共職業訓練
(離職者訓練)

公共職業訓練
(障害者訓練)

求職者支援訓練

公共職業訓練
(学卒者訓練)

公共職業訓練
(在職者訓練)

ものづくり系

事務・サービス系

多様な訓練コース

社会人スキル・
基礎的スキル習得

基礎+実践的
スキル習得

ものづくり系
OA事務系等

ものづくり系
OA事務系等

施設内訓練

※高等技術専門学校・ポリテクセンター

委託訓練

※高等技術専門学校から民間機関へ委託

委託訓練

基礎コース

※機構が民間機関を認定

実践コース

施設内訓練

※高等技術専門学校

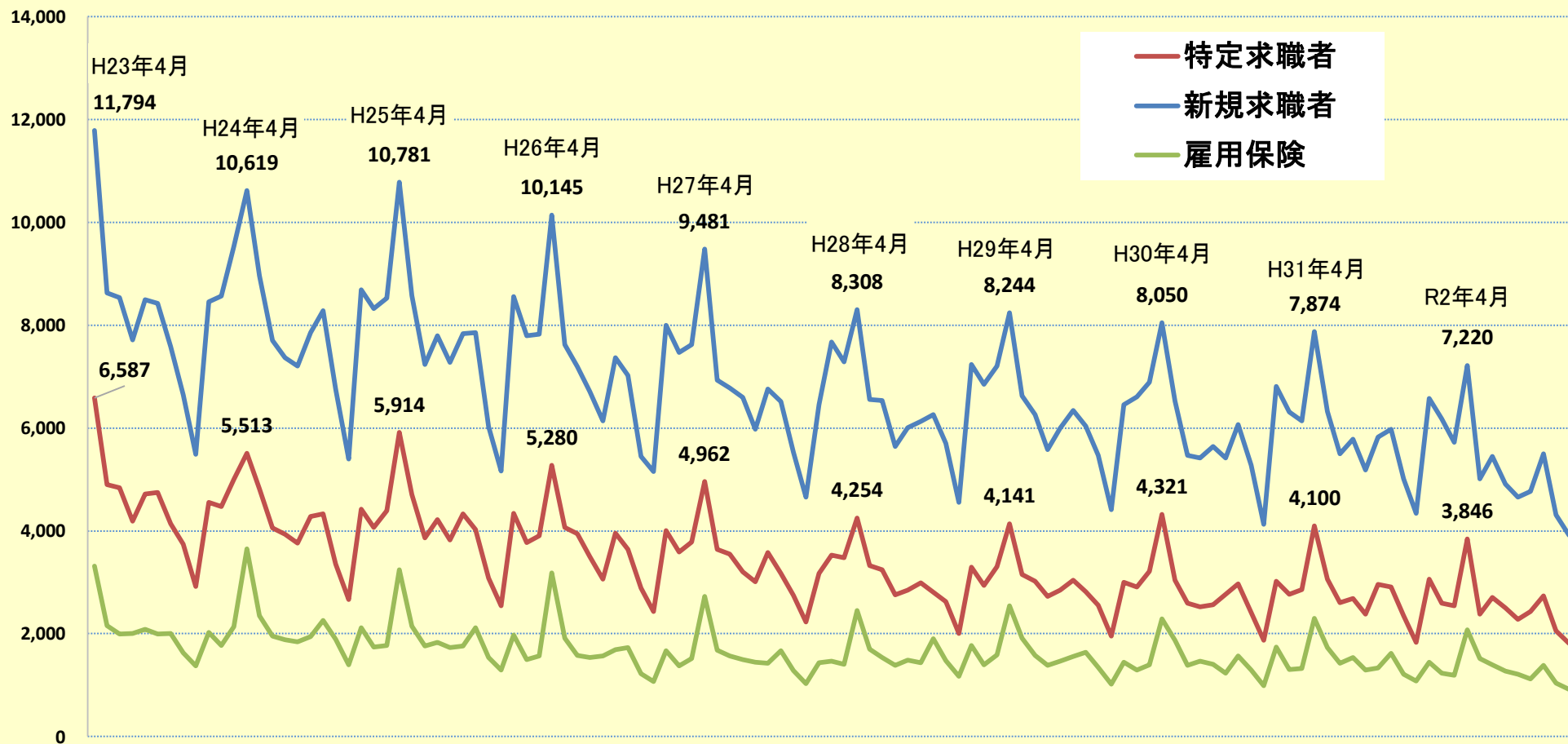
施設内訓練

※高等技術専門学校・ポリテクセンター

長崎県内における新規求職者・特定求職者の推移

令和2年の新規求職者のうち特定求職者は、6月に対前年同月比で約4%増加したが、他の月は減少。雇用保険受給者及び在職者は、対前年同月比の減少率が大きく、新型コロナの感染リスクを低減するため、求職活動を見送っている潜在求職者も一定数ある。

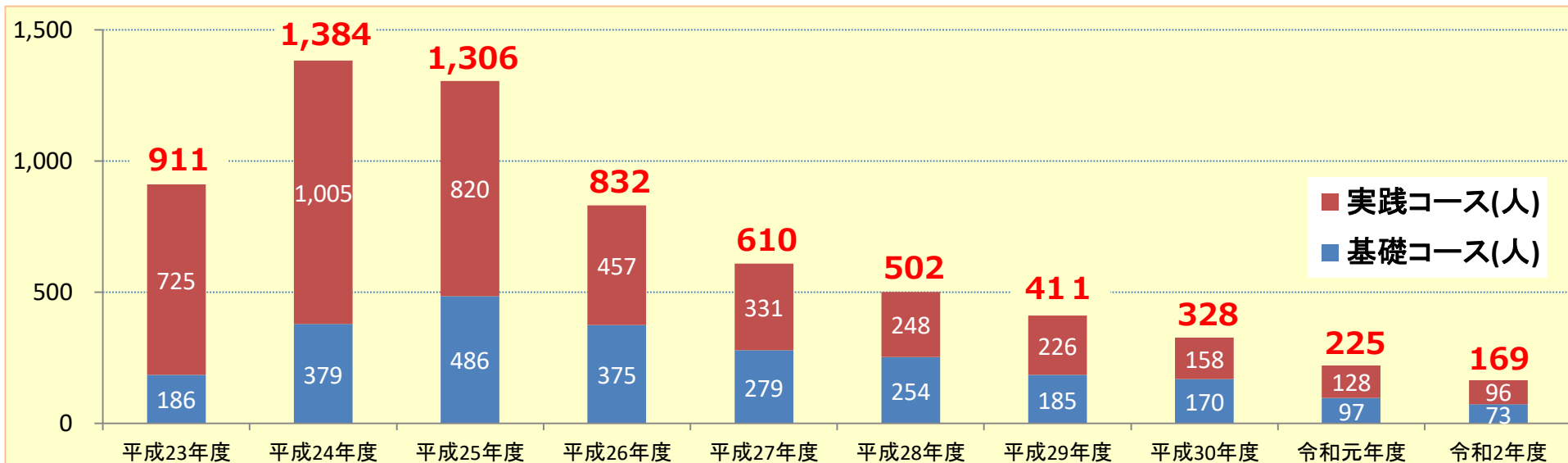
新規求職者・特定求職者の推移(長崎労働局)



特定求職者数は、新規求職者数から雇用保険受給者数及び在職者数を除いた者の数で一般（パートを含む。）

長崎県内における求職者支援訓練受講者数の推移

○雇用情勢の改善傾向が続く中、受講者数は、平成24年度をピークに減少が続いており、令和元年度は、**ピーク時の2割を下回っている。**



※求職者支援訓練は平成23年10月からスタート

※受講者数は、該当年度に開講となった訓練を受講した者の人数

※令和2年度分は、令和3年1月末現在

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
有効求人倍率	0.60	0.65	0.75	0.87	1.01	1.14	1.20	1.25	1.18	
雇用保険受給者数	24,487	24,781	22,462	20,044	18,638	19,306	18,583	17,867	17,398	
前年度比		1.2	▲ 9.4	▲ 10.8	▲ 7.0	3.6	▲ 3.7	▲ 3.9	▲ 2.6	
雇用保険受給していない者の数	54,819	49,591	48,546	44,153	40,280	36,404	35,385	33,697	33,086	
前年度比		▲ 9.5	▲ 2.1	▲ 9.0	▲ 8.8	▲ 9.6	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 1.8	

※有効求人倍率は、年度平均（新規学卒者を除きパートを含む。）

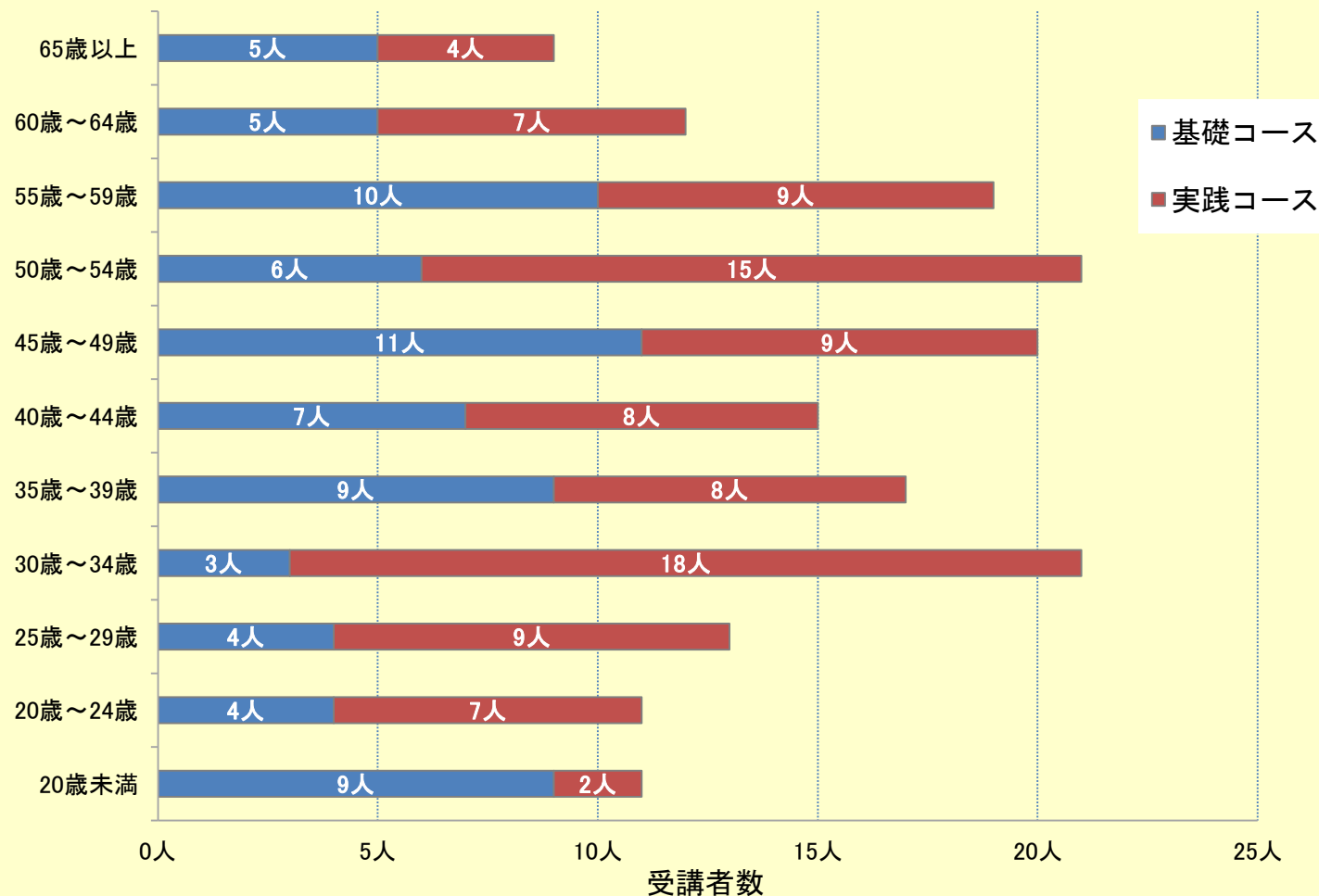
※雇用保険受給者数は、新規求職者数のうち雇用保険受給者数で一般（パートを含む。）

※特定求職者数は、新規求職者数から雇用保険受給者数及び在職者数を除いた者の数で一般（パートを含む。）

長崎県内における求職者支援訓練の受講者属性

- 受講者数が最も多い年齢階層は、基礎コースでは45歳～49歳、実践コースでは30歳～34歳。受講割合については、基礎コースでは20歳未満、実践コースでは30歳～34歳が最も高い。

● 年齢階層（令和2年度・コース別）



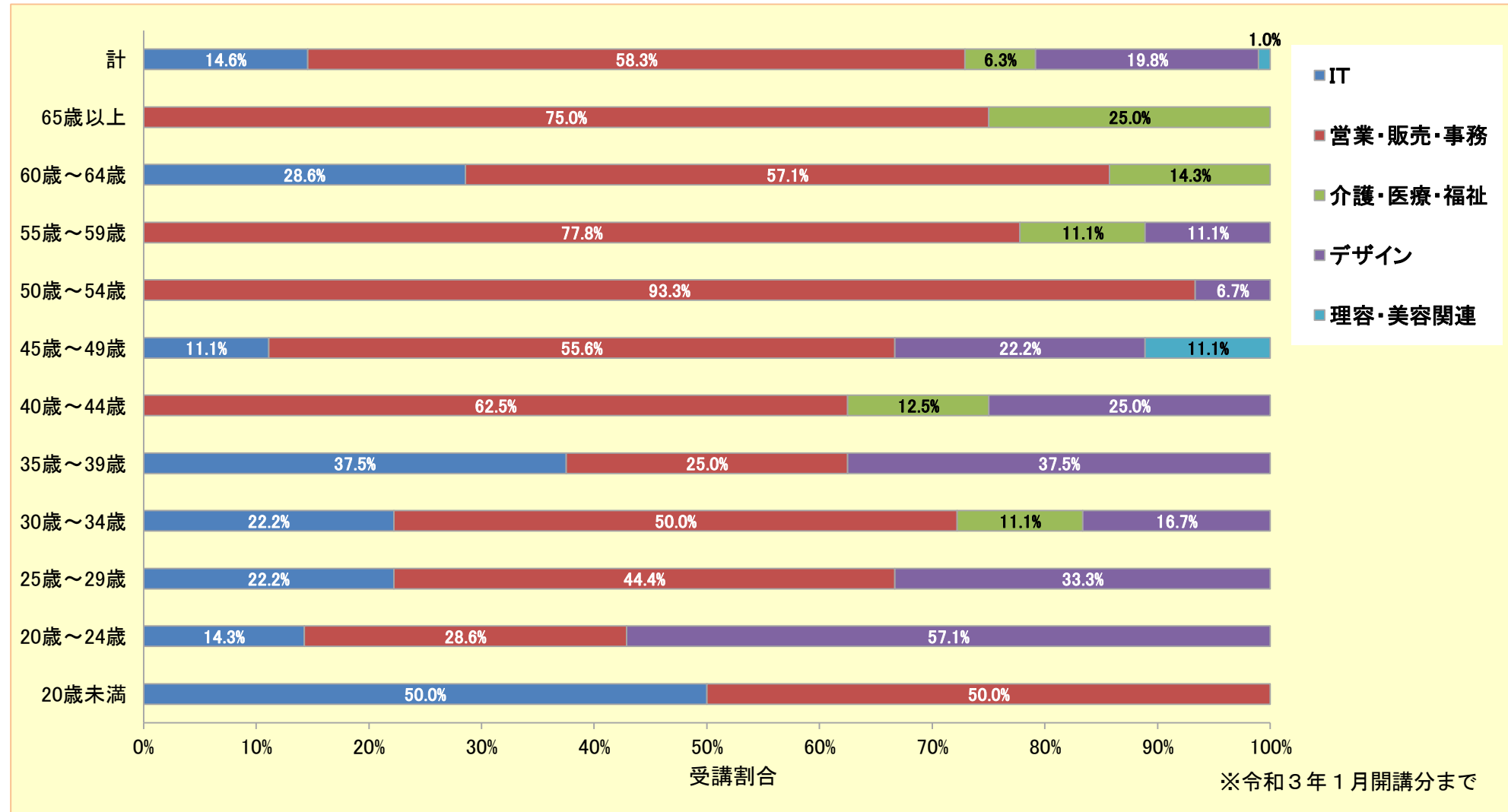
基礎コース受講割合	
合計	43.2%
65歳以上	55.6%
60歳～64歳	41.7%
55歳～59歳	52.6%
50歳～54歳	28.6%
45歳～49歳	55.0%
40歳～44歳	46.7%
35歳～39歳	52.9%
30歳～34歳	14.3%
25歳～29歳	30.8%
20歳～24歳	36.4%
20歳未満	81.8%

※令和3年1月開講分まで

長崎県内における求職者支援訓練の受講者属性

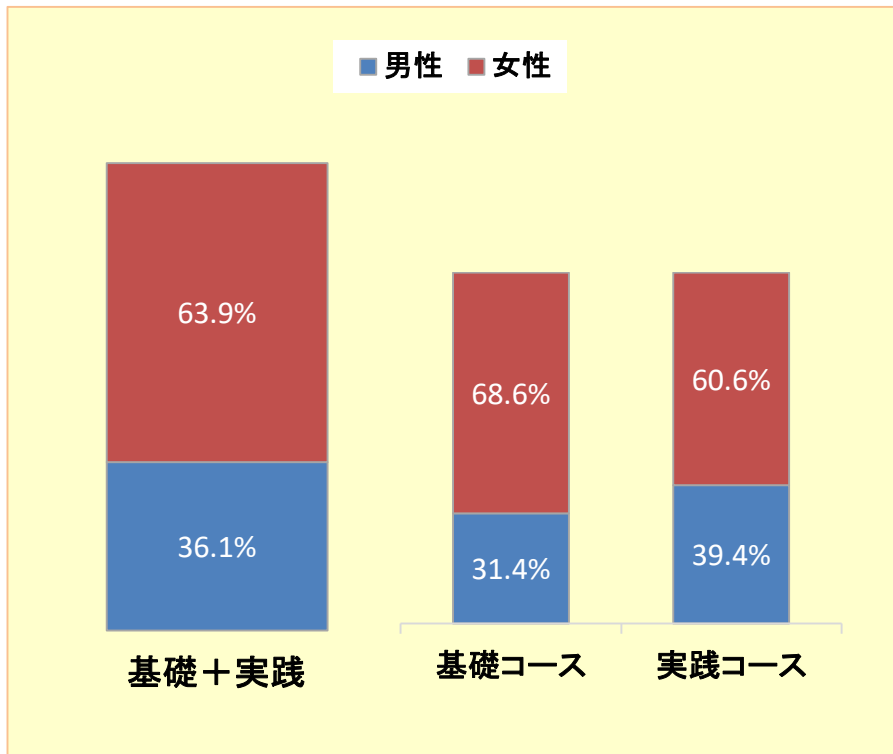
- 55歳以上の年齢階層では、介護医療福祉分野、事務分野の受講割合が高い傾向にある。
20歳未満と35～39歳以下の年齢階層では、IT、デザイン分野の受講割合が高い傾向にある。

●年齢階層（令和2年度・実践コース分野別）

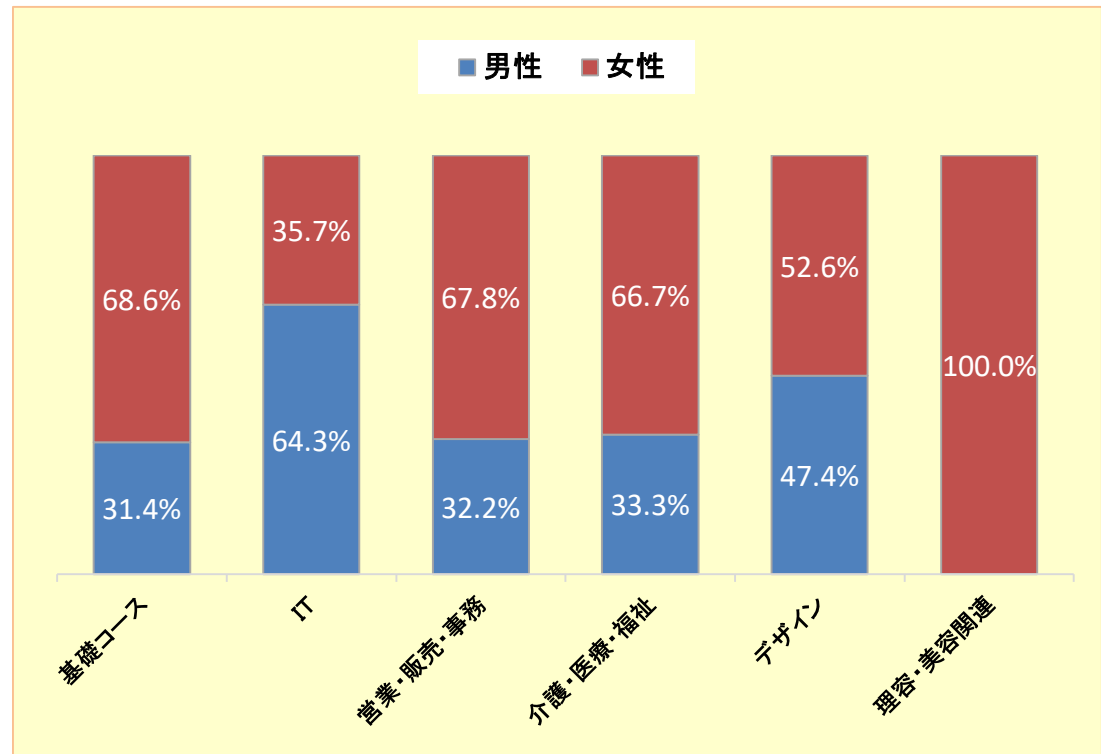


- 受講生の男女別の割合は、男性36.1%、女性63.9%である。
分野別では、営業・販売分野、介護・医療分野では、女性比率が高いが、IT分野では男性が6割超えを占めている。

●男女比率（令和2年度・コース別）



●男女比率（令和2年度・実践コース分野別）

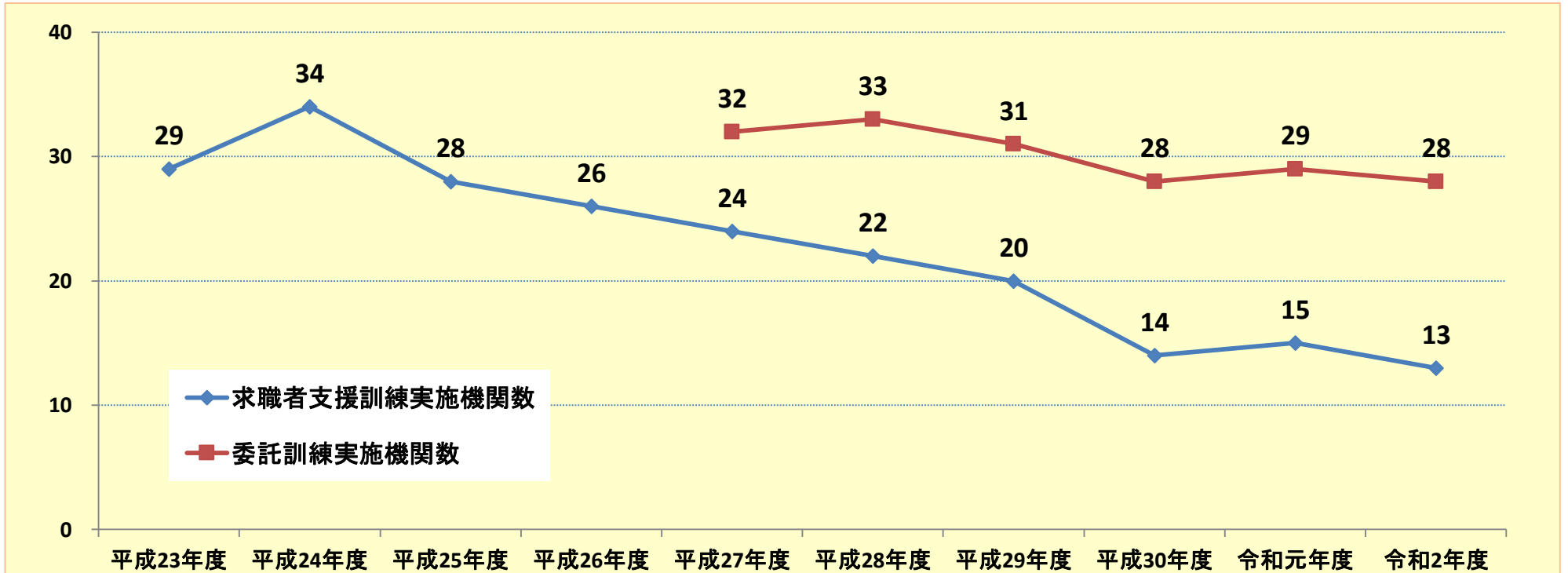


※令和3年1月開講分まで

長崎県内におけるハロートレーニング(公的職業訓練)実施機関数の推移



○求職者支援訓練実施機関は、平成24年度をピークに年々減少し、令和2年度には13機関。
委託訓練実施機関は、30機関前後で推移している。



※求職者支援訓練は平成23年10月からスタート
 ※委託訓練実施機関数の平成23年度～26年度は未調査
 ※令和2年度は、令和3年1月末現在

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
求職者支援訓練実施機関数	29	34	28	26	24	22	20	14	15	13
委託訓練実施機関数					32	33	31	28	29	28

- 1 職業訓練の周知広報** ⇒ 「受講者数の増加」、「訓練中止率の減少」
 - 2020年4月に緊急事態宣言が発令されてから7月末まで、職業訓練説明会が開催できなくなったことから、LINEによる訓練科目の紹介動画を配信。
8月から順次、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、説明会を開催中。
 - ハローワークでの職業訓練窓口への誘導 等

- 2 就職氷河期世代への支援** ⇒ 「働きながら資格取得」
 - 支援訓練におけるコース設定の要件緩和
 - ・ 訓練期間の下限：3か月以上6か月以下 ⇒ 2か月以上
 - ・ 1日当たりの訓練時間の下限：5時間⇒3時間
 - ・ 1月当たりの100時間以上⇒80時間以上平日は、より短い訓練、あるいは夜間とか土日に集中的に訓練を実施することによって、昼間働いている方でも訓練ができる。
 - 短期資格等習得コース事業
業界団体が実施する（1～3か月程度）の無料の職業訓練により、正社員就職につながる資格や技能の習得を目指す。訓練修了後は、職場見学・職場体験により業界や仕事への理解を深め、会社説明会、面接会等による就職支援を行う。

- 3 同一地域・同一訓練分野の競合緩和** ⇒ 「受講者の競合による定員割れ」
 - 令和3年度の委託訓練・求職者支援訓練の年間訓練計画策定

- 4 求職者ニーズと受講終了者アンケートの実施**
⇒ 「新たな訓練科目の発見、訓練科目や訓練施設の質の向上」

- 5 新たな訓練施設の開拓** ⇒ 「新たな訓練科目の新設」
 - 過去に公的職業訓練を実施していた訓練機関への訪問等

職業訓練を 取り巻く現状

長崎県内のハロトレニングにおける令和元年度の定員充足率は公共職業訓練（施設内訓練）93.5%、（委託訓練）86.6%で、特に求職者支援訓練が42.1%と低下傾向にある。ハロトレニングへの応募者減少に伴い、定員を充足することが難しく、本来中止となるコースも最小実施人数で訓練を実施している。また、求職者支援訓練については、ピーク時は34施設で訓練を実施していたが、今年度は13施設となり訓練コースや地域の偏り等が見られ、求職者にとって、目新しさがなくなっている。

企画の趣旨

① 職業訓練の体験を通じて、県内の訓練施設の情報発信

～受講者数が減少するなか、幅広い年齢層に情報発信し、体験を通じ訓練施設や訓練科目に興味、関心を持ってもらう～

② 訓練施設の公的職業訓練への誘導・確保

～公的職業訓練の訓練実施施設が減少していくなか、県内の訓練実施施設の掘り起こし～

● イベント名称 ● 『ハロトレ博覧会』 +AKB48チーム8 ～職業訓練を体験してみよう！～

- 開催時期：令和3年11月下旬～12月上旬
- 場所：大型MICE施設「出島メッセ長崎」
- 内容：県内の訓練施設を集めた体験型のイベントとして、「ものづくり」、「介護」、「PC」、「IT」等、さまざまな体験ブースを設けて体験してもらう。開催中はスタンプラリーも企画し、訓練施設から様々な景品を用意し配布する。また、参加者全員に、ハロトレイラスト入りのマスクを作成のうえ、配布し、会場内での感染防止と参加者が街中で着用することで宣伝効果も期待できる。当日配布予定のパンフレットには、参加訓練施設のPRシートも作成する。
- 参画：県内訓練実施施設、長崎県、ポリテクセンター、職業能力開発協会等
- ハロトレアンバサダーの活用
 - ① トーク・ミニライブと開会宣言
 - ② アンバサダー自身が訓練を体験する
 - ③ アンバサダーが来場者へ声かけし、各ブースへ誘導する
 - ④ 景品交換のブースにて、スタンプラリーを達成した来場者に景品を手渡してもらう。